

[横浜市民ギャラリーあざみ野]
令和2年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積4,283㎡ 延床面積7,899㎡／専有面積1,975㎡
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針 ※原則5年間(2020年-2024年)変更なし。

【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。

多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。

1 誰もが文化に触れる機会を提供

- ・当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への発信が求められています。外国語対応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。

- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に積極的活用します。
- ・市外からの来場者も多くあり高い評価を得ている、現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけるような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり

- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出やLGBTQに関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
- ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
- ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。

4 市民の皆さんに親しまれる施設に。安全で快適な施設に。

- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

(2) 令和2年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

新型コロナウイルス感染症予防のため、令和2年3月2日（月）から5月31日（日）まで臨時休館となりました。6月1日（月）より再開館し、感染症拡大防止対策を十分に図った上で年度当初の事業案を見直し、中止や順延の判断があった一方で、状況に応じて新規事業の企画立案及び実施を行い、第4期指定管理期間に際し掲げられた「6つの使命」達成に向け、将来へ向けた運営基盤の整備に努めました。

「使命1」

誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近なものとなることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う地域社会の醸成につなげることを目標に、コロナ禍においても柔軟に開催手法に工夫を加え事業を実施しました。特に子ども対象事業については、感染症予防対策を徹底した上でいち早く再開に踏み切り、その手法は事業再開の「モデルケース」として、外部からの視察等を受ける事となりました。

第4期からの本格始動を目指していた、高齢者、外国人の方々への取り組みについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、その多くを次年度に繰り延べる形になりました。

「使命 2」

市内外の専門家や関係機関とも連携を図り、カメラ・写真コレクションを軸に横浜の映像分野の拠点として発信力を高めました。現代アートの企画展では、コロナ禍だからこそ挑戦できる事業を模索し、作家と共に発信性の高い試みを行いました。動画配信にも積極的に取り組み、将来性のある作家のインタビュー動画公開数を増やしました。作家と来館者との交流については、講座形式で人数制限が可能なトークイベント以外は、全て中止としました。

市民向け講座においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った形での講座運営を整えた上で、多様な技法、美術分野に触れられるよう、バラエティ豊かな講座メニューを開催し好評を得ました。

「使命 3」

「地域コミュニティが抱える問題に対して文化・芸術活動を通じたアプローチにより課題解決を図る」という使命に関する取り組みの実施が、最も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けました。

今年度において積極的に他団体とのネットワークを構築することが困難な状況となり、情報交換は継続しつつも、計画した事業の多くについての本格稼働は令和3年度以降に具体的にスタートさせることとしています。

「使命 4」

文化芸術を媒介に北部地域の様々な公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会等が相互につながり合う取り組みを進め協働から地域の活力を生み出すため、コロナ禍における手始めとして近隣公共施設との次年度以降の連携に関する情報交換の常態化を始動しました。本格稼働は令和3年度以降に着手の予定です。

「使命 5」

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた「新しい施設利用様式」を利用者と共に作り上げ、このような状況下においても市民が安心して利用できるよう、必要な経験と知見を駆使した施設運営を実現しました。常に、利用者の方々に「また来たい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティあふれるコミュニケーションを心がけ、アンケートやヒヤリングなどより広くご意見を収集し運営に活かしました。

「使命 6」

市民の皆さんに安心安全で快適な場を提供し続けるために、センター横浜北及び設備管理や警備・清掃担当とのきめ細かな情報交換をもとに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、日常の環境維持や積極的な予防的修繕に努めました。また、非常時の防災拠点としての役割を果たすべく、スタッフ全員が日頃からのサービス向上の検討や防災訓練をはじめとした様々な方法で危機管理能力を高めるとともに、近隣公共施設と定期的な情報交換による、地域全体での防災強化に努めました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 使命1：横浜市北部地域の幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心として文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み</p> <p>● 在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実</p> <p>● 幅広い市民の皆様の「やってみたい！」を応援</p>	<p>□ アンケート及びヒヤリング等による高齢者(65歳以上)へのニーズ調査の実施</p> <p>■ 英語ウェブサイトでの情報発信多言語化検討、外国人来訪者への多言語対応(随時)</p> <p>■ 北部地域の国際交流ラウンジとの連携を相談(随時)</p> <p>□ 「親子のフリーズゾーン」のやさしい日本語や英文による情報提供※英文パンフレットの作成</p> <p>□ 市民のためのプログラム ・各種ワークショップの開催 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□ あざみ野カレッジ「文化芸術部門」年4回開催 年間延160名以上 ・内1回は、横浜トリエンナーレ連携</p>	<p>□ 感染症拡大防止の観点から手法の見直しが必要となり、今年度はその検討期間とした。</p> <p>■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、施設への来館喚起の方向ではなく、当館所蔵カメラ・写真コレクションに関する資料検索の英文ページ作成を推進。</p> <p>■ 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響で、打ち合わせの機会を設ける事が適わず、本格実施は来年度以降に順延。</p> <p>□ 感染症対策を鑑みた「親子のフリーズゾーン」再開を優先としたため、英文パンフレット等多様性に資する情報提供は、次年度に順延。</p> <p>□ 市民のためのプログラム ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□ あざみ野カレッジ「文化芸術部門」年4回開催 年間延120名 (密回避のため、各回最大30名に規模縮小)</p> <p>・現代美術探求ラボ</p>

<p>●アートで子ども の情操や共 感能力を育て る</p>	<p>□企画展「あざみ野こ どもぎやらりい 2020」 年1回 来場者4,000 人以上 企画展内でのワーク ショップ 1回以上 実施</p> <p>□親子のフリーズ ーン(幼児と児童、保護 者対象) 月3回(年36回)開 催 来場者延 8,000名以 上</p> <p>□子どものためのプ ログラム 年12講座実施 参加者延 240名以上</p>	<p>「コロナ禍で芸術祭をつくる仕事」～札幌国際芸術 祭 2020 中止の舞台裏を語る～(9/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨコハマトリエンナーレ 2020 連携企画 飯山由貴「見えにくい、聞こえにくい、確かな 経験」(9/19) ・疫病と美術～ペスト禍の「死の舞踏」を中心に～ (9/21) ・あざみ野コンテンポラリーVol. 11 連携企画 「身体とことばの不安定さについて-関川航平の方 法」(10/24) <p>□「中止」の上、代替事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あざみ野ファミリーワークショップ 「カラーテープでおえかきしよう!!」6日間 (7/31, 8/1, 2, 8, 9, 10) 対象者：幼児・児童を含む家族 参加者数：各日5組計30組103名 ・同WS成果展として作品を公開(8/15, 16) 来場者：76名(2日間) ・制作過程及び記録動画の収録及びHP上での公開 <p>□従来スキームによる開催は「中止」し、代替案を 検討し実施。 4回のモニター事業(10/14, 28, 11/4, 15)を経た上 で、「予約制だよ!あざみ野親子のフリーズーン」 (1日5組、1組5名上限、事前予約制)として実施 (12/2, 13, 16, 1/11, 20, 27, 2/10, 21, 24, 3/10, 21, 24) 計16回(含:モニター開催) 参加者数:計71組、226名</p> <p>□子どものためのプログラム 5月-7月予定事業は、一部を除いて延期。参加人 数を絞る等、新型コロナウイルス感染症拡大防止 策を図った上で8月以降実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「油絵を描こう」(8/8, 15, 16, 29) ・「つくってあそぼう!釣りゲーム」(8/15, 16) ・「うごくカラフルな動物をつくろう」(8/23) ・「親子でえのぐであそぼう」(9/13) ・「親子でねんどであそぼう」(9/22)
--	--	--

<p>●障がいのある方を対象とした事業</p>	<p>□横浜市芸術文化プラットフォーム 年4校以上実施</p> <p>□あざみ野クリスマス・ジュニアコーラス 年1コース実施 参加者数30名</p> <p>□親子で造形ピクニック(個別支援学級や特別支援学校に通う親子対象) 月1回(年12回)開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「見て、さわって、描く」(10/3) ・「アトリエのペットショップ」(10/25) ・「焼き物をつくろう」(11/15) ・「クリスマス飾りをつくろう」(12/6) ・「かみであそぼう」(12/13) ・「おもしろい顔をつくろう」(1/11) ・「紙でつくろうパタパタ鳥」(2/21) <p>年12講座実施 参加者408名</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一部参加者同士の接触を避け、親子参加のプログラムに変更(参加者数に保護者の数を含む)</p> <p>中止事業：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すてきな車をつくろう」(4/29) ・「リサイクルアートに挑戦」(7/18, 19) ・「ガラスのトンボ玉に挑戦」(3/21) <p>□横浜市芸術文化プラットフォーム 4校実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すみれが丘小学校(5年生2クラス)： 山田裕介/金属加工 ※資材協力：古河電工パワーシステムズ株式会社(9/7, 14, 28) ・荏田小学校(3年生2クラス)： 山田佐映子/段ボールアート(12/17, 18) ・折本小学校(個別支援学級全学年)： 小川理恵子/ダンス(1/29, 26, 29) ・新羽小学校(個別支援学級2クラス)： 三ツ山一志/スチロール&段ボール(1/15, 16, 26) <p>□参加者：延べ359名</p> <p>□あざみ野クリスマス・ジュニアコーラス 「合唱」と言うジャンルである事、密を避けての練習が困難である事などを鑑み「中止」</p> <p>□親子で造形ピクニック(個別支援学級や特別支援学校に通う親子対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月-8月予定事業は、全て「中止」 ・9月以降参加者人数を絞り、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に図った上で再開
-------------------------	--	---

<p>●施設を訪れたすべての方々にアートの息吹を</p>	<p>催</p> <p>□造形活動による学校支援 年10回程度実施</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会ー 年1回以上(企画展開催時に実施)</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」年1回※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□企画展「あざみ野フォト・アニュアル」年1回※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p>	<p>年間7回、参加者数：67名 (9/26、10/17、11/7、12/5、1/16、2/13、3/13)</p> <p>□造形活動による学校支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月-8月予定事業は、利用予定校からの申し出により、全て「中止」 ・9月以降30名超の参加校を2回分割実施とし、感染症拡大防止対策を十分に図った上で再開 年間5校6回実施 参加者数：104名 <p>北山田小学校個別支援学級(9/8)、あざみ野第一小学校個別支援学級(11/10)、山内小学校個別支援学級①(11/24)、大豆戸小学校個別支援学級(12/8)、山内小学校個別支援学級②(12/15)、上山小学校個別支援学級(12/22)</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な接触、近距離での会話が必須の事業であるため、今年度開催は見送り。 <p>●企画展については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりつつも、このような状況下において生み出されるアーティストたちの「今」の取り組みを、積極的に発信し市民と作家・作品をつなぐ事に努めた。</p> <p>小展示コーナーにおいては、新規に作家インタビューや展示過程の動画配信を導入する事で、若手アーティストたちの活動支援を行った。</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリーVol.11『関川航平 今日』」(10/10-11/1) ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□「あざみ野フォト・アニュアル 企画展・コレクション展」(1/23-2/14) ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p>
------------------------------	---	---

	<p>□ショーケースギャラリー（小展示） 若手アーティストの作品 年4回</p> <p>□フェローアートギャラリー（小展示） 障がいのあるアーティストを紹介 年4回 ※他施設へのアウトリーチ展示 年1回以上実施</p> <p>□ロビーコンサート 月1回以上（年12回以上） 来場者数 1,200人以上（年間） ※男女共同参画センター横浜北と共催</p>	<p>□ショーケースギャラリー（小展示） ・宮内由梨展（5/7-7/7） 感染症拡大防止のため5/31まで臨時休館 ・谷本真理展（7/11-9/20） ・大野陽生展（9/26-12/13） ・安部寿紗展（1/9-3/21） ※新規に準備風景や作家インタビューを収録した動画を製作、年4本をYouTubeで配信</p> <p>□フェローアートギャラリー 年4回 ・vol.38 井口直人 展（5/7-7/26） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5/31まで臨時休館 ・vol.39 渡邊富弘 展（7/29-10/25） ・vol.40 藤本正人 展（10/28-1/24） ・vol.41 澤井玲衣子 展（1/27-4/25） ※感染症の影響により、今年度の他施設アウトリーチ展示は見送り。</p> <p>□ロビーコンサート 4月-8月予定事業は、全て中止。9月以降、出演者のいない「オーディオ機器」によるコンサートを皮切りに、参加者人数を絞り、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図った上で再開。 年13回、来場者数950名（年間） ※男女共同参画センター横浜北と共催 (9/27、10/11、25、11/8、22、12/13、20、1/10、24、2/14、28、3/7、14)</p>
--	--	--

イ 使命2：市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを生かした映像分野の拠点となるとともに、現代の芸術の発信拠点となる。また、多様な芸術分野への様々なアプローチを用意することで、芸術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口の増加に貢献する。

<p>[取組内容]</p> <p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□企画展「あざみ野フォト・アニュアル」 年1回 『フォト・ヨコハマ』の時期に合わせ、</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●今年度の「あざみ野フォト・アニュアル」は、年度初頭の緊急事態宣言に伴う臨時休館により貸館利用を中止した団体へ展示室を提供するため、会期を例年の4週より3週に変更し開催。1階では最新の現代の写真家によるグループ展、2階で写真の歴史</p>
--	---	---

	<p>テーマ別コレクション紹介 年4回</p> <p>□映像関係ワークショップ</p> <p>・一般対象 年1回</p> <p>※「市民のためのプログラム」内で開催</p> <p>・子ども対象</p> <p>※「子どものためのプログラム」内で開催</p> <p>※小学校出張写真ワークショップ 年1コース</p> <p>※「教師のためのプログラム」年1回</p> <p>※横浜市中学校アニメーションフェスティバル 年1回</p> <p>■カメラ・写真コレクション保存・研究・Web公開</p>	<p>年3回（1回目が緊急事態宣言に伴う臨時休館にあたったため未実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画の中のカメラ（10/3-10/25） ・フィルムカメラのはじまり（10/28-11/15） ・ケースとアルバム（2/27-3/21） <p>□映像関係ワークショップ</p> <p>例年実施の初心者向けデジタルカメラ講座は、機材操作の指導における対人接触が避けられないため中止。</p> <p>代替の講座を「あざみ野フォト・アニュアル」関連事業として実施。※再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロタイプ・ワークショップ（1/31） ・あざみ野カレッジ「写真と版」（2/11） <p>・子ども対象事業については、「子どものためのプログラム」及び近隣小学校へ出張ワークショップ 双方とも中止。</p> <p>・「教師のためのプログラム」については、横浜市中学校美術科研究部会からの申し出により中止。</p> <p>・横浜市中学校アニメーションフェスティバル（1/16.2/20）</p> <p>作品講評：ささきえり（アニメーション作家・イラストレーター）</p> <p>会場：横浜市役所アトリウム</p> <p>■カメラ・写真コレクション保存・研究・Web公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵作品の状態確認・調査・整備 <p>作品の保管状態を点検・改善しながら作業し、コレクション購入当時の目録を調査、補完、修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース整備 <p>英語版データベースを新設し公開（3/31）</p> <p>データベースでの画像掲載作業をカメラに引き続き継続中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「アートあざみ野」への「ギャラリー オ
--	--	---

<p>●現代アートの発信拠点として</p>	<p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」 ※「使命1」再掲 来場者 3,000 人以上 平均満足度 4.6 以上</p>	<p>ン ザ マガジン」(コレクション紹介記事掲載) □年 3 回掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクター、サーマン・F・ネイラー氏 ・ライター型カメラ「エコー8」 ・ベルンポール三色分解カメラ <p>□あざみ野コンテンポラリーVol. 11「関川航平 今日 Let's call it a day」(10/10-11/1) 来場者 1,183 名 平均満足度 4.65 (5 点満点)</p> <p>●従来全展示室で開催していたが、展示室 1 のみに縮小して開催(感染症拡大のため利用中止とした団体への貸出枠を提供するため)。 本展では、関川が 22 日の会期中毎日展示室に滞在してパフォーマンスを行う。フロアに寝かせた壁の上で、黒いシャツとズボンにタップシューズを身に着けた関川が文字や絵を描き、台詞を叫び／眩き、ダンスをし、歌い、ハミングをし、口笛を吹き、歯軋りをし、走り、歩き、寝て、起きて、考え、演劇のような身振りをし、踵を／爪先を／指先を擦り、引っ掻き、全身を叩きつけ、1 日の終わりにはその 1 枚の壁を持ち上げ、反対側にひっくり返し、痕跡は二度と目にすることのできないものとする一連の行為を 22 日間欠かすことなく実施。また、特設サイトでは作家自身が毎日パフォーマンスと円環するような言葉を綴った。</p> <p>【関連企画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あざみ野カレッジ」連携企画 身体とことばの不安定さについて—関川航平の方法(10/24) 講師：木下知威(日本社会事業大学社会福祉学部)、ゲスト：関川航平 ・セッション：「凧おる、もう一個凧おる、鳥おる」(10/28) 出演：関川航平、鴻池朋子(美術家) ・対談 関川航平×山下澄人(10/31) 出演：関川航平、山下澄人(小説家／劇団 FICTION 主宰)
-----------------------	---	--

<p>●市民の皆さんが主体となって文化芸術活動に関わる取組</p>	<p>□ショーケースギャラリー ※「使命1」再掲</p> <p>■アーティストインタビュー（アーカイブ）の活用・発信</p> <p>□市民のためのプログラム ※「使命1」再掲 美術分野における初級者向けの基礎を習得するワークショップ、中級者向けの技術や表現の向上をアーティスト等から学ぶワークショップを実施 年10コース以上 ※写真・水彩等各分野の講座 5コース ※ヌード・クロッキー（オープンスタジオ）5コース 年間参加者 延べ800名以上 平均満足度4.6以上</p>	<p>□ショーケースギャラリー ※「使命1」再掲 ※新規事業（追加）：準備風景や作家インタビューを収録し、動画配信年4本 ・宮内由梨展（5/7-7/7） 感染症拡大防止のため5/31まで臨時休館 ・谷本真理展（7/11-9/20） ・大野陽生展（9/26-12/13） ・安部寿紗展（1/9-3/21）</p> <p>■アーティストインタビュー（アーカイブ）の活用・発信 ・館ホームページのトップからYouTube「artazamino 動画チャンネル」へのアクセスをわかりやすく改善。 ・展示やイベントに合わせてトップページにピックアップした動画をはめ込むことで、訴求力を高める工夫をした。</p> <p>□市民のためのプログラム 感染症拡大による緊急事態宣言発出及び臨時休館等の影響で、一部予定事業を中止し、対策を取ったうえで定員減あるいは新規事業として実施。 年11コース開催 年間参加者数：延べ264人(3/31現在)</p> <p>□年間満足度4.71（5点満点）</p> <p>・オープンスタジオ「着衣クロッキー」年間8コース（1コース2回）：計16回 ※感染症拡大防止対策の緊急事態宣言中の夜間コース1回分（3/10）を令和3年度4/7に延期実施。 ・絵具ラボ(7/11) 計1回 ・金継ぎ入門(10/16-11/20) 計4回 ・初めての透明水彩(11/16-12/21) 計5回</p> <p>【中止事業】 ・オープンスタジオ「ヌード・クロッキー」年間5コース20回 ・やさしく、たのしいデジタル一眼カメラ(4/23-6/11) 計5回</p>
-----------------------------------	--	---

ウ 使命3：地域コミュニティが抱える課題に対して文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気づき、考えを深める契機を創出する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います</p> <p>●市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します</p>	<p>■行政や教育機関、福祉・医療施設、自治会やシニアクラブ、区民利用施設等に対し、文化芸術面からのアプローチを模索し、他の領域と創造性を活かして協働する中から、市民が自ら課題に向き合えるきっかけを作る。</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」「あざみ野フォト・アニュアル」出展作家によるアーティストトークや対談 年間2回以上開催</p>	<p>■あざみ野駅より当館に続く坂の中腹にある河津桜をシンボルとした「あざみ野河津桜坂文化圏」構想について、近隣にある山内地区センター、山内図書館に参画を打診し前向きな回答を得る（3月）、また、あざみ野商店会等で構成する「やさしい街あざみ野実行委員会」の会合に出席し、当館のPR及び実行委員会への参画を表明（3月）</p> <p>□企画展「あざみ野コンテンポラリー」「あざみ野フォト・アニュアル」出展作家によるアーティストトークや対談 ※年間5回開催</p> <p>●あざみ野コンテンポラリー ※イ 使命2再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体とことばの不安定さについて—関川航平の方法(10/24) 講師：木下知威（日本社会事業大学社会福祉学部）、ゲスト：関川航平 ・セッション：「凧おる、もう一個凧おる、鳥おる」（10/28） 出演：関川航平、鴻池朋子（美術家） ・対談 関川航平×山下澄人(10/31) 出演：関川航平、山下澄人（小説家／劇団FICTION 主宰） <p>●あざみ野フォト・アニュアル ※イ 使命2再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロストーク#1（1/23） 出演：木原結花、チバガク（オンライン参加）、平本成海、吉田志穂 聞き手：菅沼比呂志、天野太郎 ・クロストーク#2（1/30） 出演：宇田川直寛、川島崇志、新居上実 聞き手：菅沼比呂志、天野太郎

	<p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会ー ※「使命1」再掲</p> <p>□「親子のフリーズーン」終了後、30分程度の懇談会の実施 年6回</p> <p>□各種ワークショップ、講座における最終回終了後に時間を設け、参加者へのグループヒアリング 月1回（年12回）</p> <p>■「あざみ野カレッジ」終了後、「生涯学習」に対する意見交換会の実施</p> <p>□アートサポーターワークショップでの協働 年2回以上</p> <p>□フェローアートギャラリー（小展示） 障がいのあるアーティストを紹介 年</p>	<p>●上記に加え、インタビュー動画や記録映像のWeb配信も実施。</p> <p>□アートなピクニックー視覚に障がいがある人となない人が共に楽しむ鑑賞会ー ※「使命1」再掲 ・感染症の影響により実施を見送り</p> <p>□「親子のフリーズーン」 事業中止に伴い実施を見送り。ただし、代替案検討に伴い、「モニター」を募集し、親子、子ども向け事業のニーズや運営形態に関する調査を実施。新規事業企画立案の参考として活用 (10/14, 28, 11/4, 15) 計4回</p> <p>□感染症の影響により実施を見送り</p> <p>□感染症の影響により実施を見送り</p> <p>□アートサポーター 感染症の影響により、参加者の安全確保のため今年度の活動は見送り。今後の参加の在り方や要望をリサーチするため、登録者全員にアンケート調査を実施（3月）</p> <p>□フェローアートギャラリー 年4回 ※「使命1」再掲 ・vol.38 井口直人 展（5/7-7/26） 感染症拡大防止のため5/31まで臨時休館</p>
--	---	---

<p>●センター横浜北との連携をさらに充実させます</p>	<p>4回 ※他施設へのアウトリーチ展示 年1回以上実施 ※「使命1」再掲</p> <p>□あざみ野アートワゴン&マルシェ 障がいのある人たちの手掛けた物品などを発表・販売する場を提供・支援 年5回以上</p> <p>□あざみ野サロン 音楽や大衆芸能分野に留まらず、LGBTQや女性の社会進出に関する知識人による講演会や映画を上映 年2回</p>	<p>・vol.39 渡邊富弘 展 (7/29-10/25) ・vol.40 藤本正人 展 (10/28-1/24) ・vol.41 澤井玲衣子 展 (1/27-4/25) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の他施設アウトリーチ展示は見送り。</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ (名称変更) 感染症の影響により、7月19日を初回とし4回実施。(7/19, 8/5, 10/18, 11/21) 来場者数：延べ3,892名 参加団体数：23団体</p> <p>□あざみ野サロン 4回実施 (主催2回、共催2回) 感染症拡大防止対応策として、受付方法、会場レイアウト、設定席数などを開催時のガイドラインに合わせて実施。</p> <p>・映画「火火(ひび)」上映会(10/25) ※センター横浜北企画 ・あざみ野寄席「新春！金原亭馬玉独演会」(1/16) ・あざみ野アート&シネマ Vol.6 ドキュメンタリー映画「うたのはじまり」(絵字幕版)上映会(2/13) ・講演「ジェンダー×アート」～アートを通して観る多様な社会～(リモート開催) 講師：荒木夏実(3/20) ※センター横浜北企画</p>
-------------------------------	---	--

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コンメンズの形成に貢献する。

<p>[取組内容] ●地域の資源を発掘し、市民とつなぎます</p>	<p>[達成指標] □あざみ野カレッジ「地域資源部門」 地元の地域資源を題材とする講座 年3回(含：現地出張講座)</p>	<p>[実施内容と達成状況] □あざみ野カレッジ「地域資源部門」 地元の地域資源を題材とする講座 年2回開催 年間延63名 ※各回定員を30名程度に縮小</p> <p>・地元オーディオ機器メーカーによる「ハイエンド・オーディオの世界」(10/11) 協力：アキュフェーズ株式会社(青葉区)</p>
---------------------------------------	---	--

<p>●地域の様々な担 い手とつなが る機会を作り ます</p>	<p>□地元大学等連携事 業・共同ワークショ ップ／年1コース</p> <p>□あざみ野アートワ ゴン&マルシェ ※「使命3」再掲</p> <p>□アートプラザのお 弁当屋さん</p> <p>□アートフォーラム フェスティバル（男 女共同参画センター 横浜北との共催） 年1回開催</p>	<p>・あざみ野フォト・アニュアル関連 「写真と版」（2/11） 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション紹介</p> <p>□地元大学等連携事業・共同ワークショップ 年1コース 感染症の影響により次年度以降に見送り。</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ（名称変更） ※「使命3」再掲 新型コロナウイルス感染症の影響により、7月19 日を初回とし4回実施。（7/19, 8/5, 10/18, 11/21） 来場者数：延べ3,892名 参加団体：23団体</p> <p>□アートプラザのお弁当屋さん 臨時休館中は中止し、7月以降屋外飲食可の対応 と併せて出店者と調整し再開。計27回</p> <p>□全館を利用してのフェスティバル（10/25 予定、 男女共同参画センター横浜北との共催）は、感染症 拡大防止のため開催中止。ただし、両団体の個別の 主催事業（「映画会」「ロビーコンサート」「ファミ リー向けワークショップ」等）は実施（10/25）</p>
<p>●北部地域の文化 施設全体が、文 化的コモンズ の形成に貢献 できるよう協 働します</p>	<p>■青葉区主催事業へ の共催（実行委員会 参加等） ・あおば美術公募展 への協力（7月） ・フォトジェニック 青葉への協力 時期 未定 ・青葉区民芸術祭へ の協力（11月）</p> <p>□子ども向けワーク ショップの地元企業 との連携 年1回開催 ※「あざみ野こども</p>	<p>□青葉区主催事業への共催（実行委員会参加等） ・あおば美術公募展への協力 7月「中止」 ・フォトジェニック青葉への協力「未実施」 ・青葉区民芸術祭への協力 11月「中止」</p> <p>□子ども向けワークショップの地元企業との連携 横浜市芸術文化プラットフォーム事業内で実施 古河電工パワーシステムズ株式会社（青葉区） からの無償提供資材を使用し金属加工ワークショ ップを実施（すみれが丘小学校 9/7・14・28）</p>

<p>●新たなつながりと活力を生む、「あざみ野河津桜坂文化圏（仮称）」創出</p>	<p>ぎやらりい」内で開催</p> <p>■東急田園都市線沿線「文化施設」相互ピアレビュー協定実施に向け3館による検討会議実施（通年） 青葉区民文化センター（フィリアホール） 緑区民文化センター（みどりアートパーク）</p> <p>■文化圏形成に向けた各施設への構想打診及び集合会議の開催（随時）</p>	<p>■新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度以降着手に見送り。</p> <p>■あざみ野駅より当館に続く坂の中腹にある河津桜をシンボルとした「あざみ野河津桜坂文化圏」構想について、近隣にある山内地区センター、山内図書館に参画を打診、前向きな回答を得る（3月）※使命3再掲</p>
---	--	---

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

<p>[取組内容]</p> <p>●利用者ニーズの把握</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> アンケート 展示室：利用終了日まで実施 アトリエ：継続的利用団体（年度末）、単発利用団体（都度）</p> <p>イベント来場者：イベント開始時にアンケート配布、又は、会場にアンケート用紙を設置</p> <p>アンケートデータ：質問項目すべてを集計し、1週間以内にスタッフ全員に回覧</p> <p><input type="checkbox"/> 意見聴取（ヒヤリング） 展示室利用者：利用打合せの</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> アンケート 展示室：全22団体より回答 顧客満足度 4.73（5点満点） アトリエ：回収率69% 顧客満足度 4.74（5点満点）</p> <p>イベント来場者：感染症対策として、従来の紙による収集に加え、QRコードによるインターネット上でのアンケート回答システムを導入した。</p> <p>■アンケート回覧：1週間以内に回覧実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
---------------------------------	--	--

<p>●施設貸出の考え方</p>	<p>際に実施 アトリエ利用者:年4回の利用申込み抽選日に実施</p> <p>■公平・公正で透明性の高い施設貸出を実施</p> <p>■専門性の高いサポート、ホスピタリティを提供</p> <p>■新規貸館利用者の創出に向けたインターネット広報を充実</p>	<p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施 ※施設利用時の感染症対策について、飛沫防止スクリーン・手指消毒液・除菌シートなどを無償提供した。</p> <p>■展示室空室については即時ホームページに公表するとともに、SNS等では横浜市民以外でも利用できる施設であることなどを広報。</p>
<p>●施設貸出の流れと取り組み</p>	<p>■展示室:1週間単位(火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで)で利用を受付</p> <p>■空き情報を即時ホームページ(以下HP)上で公開するほか、SNS等で従来利用者以外への情報発信を行い、展示室利用率100%の維持に努める。</p> <p>■貸館利用チラシを近隣の美術サークル、芸術関係の団体に配布</p> <p>■利用開始前3ヶ月程度で空きが発生している場合、「ギャラリーお試し利用事業(仮)」の実施を検討</p>	<p>■計画通りに実施 ※利用まで3か月を切る空室については、日単位で貸出を実施。</p> <p>■利用中止や、自主事業利用枠の調整による空室を即時HPに公表するとともに、SNS等では横浜市民以外でも利用可能施設であること等を広報した。また自主事業利用枠を一部開放し、一般利用の促進を図った(申込5団体、最終的に3団体が利用)。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症流行に伴い、今年度は未実施。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症流行に伴い、今年度は未実施。</p>
<p>●利用者へのコミュニケーションとサポート</p>	<p>■専門性に基づいた展示構成アドバイス</p> <p>■コンシェルジュとして相</p>	<p>■専門性に基づいたアドバイス 展示に関する多様な要望に可能な限り対応</p> <p>■コンシェルジュとしての相談対応</p>

<p>●文化施設としての専門性を発揮するための人材配置とその育成</p>	<p>談に応じる</p> <p>■利用団体に対しての広報協力・「展示室・アトリエスケジュール」(当館HP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨコハマ・アートナビ」、 「マグカル」等への情報提供 ・利用期間中の展示の様子を、HPやSNSで発信 ・情報誌『アートあざみ野』への掲載(年4回) ・エントランスロビーのラックにチラシ等の配架 <p>■物品の預かり アトリエ継続的利用団体への備品保管ボックス貸出</p> <p>■当団体の人材マネジメント・ポリシーを遵守</p> <p>■事業担当と施設運営担当について、当団体の人材をバランスを考え配置</p> <p>■OJT及び各種研修による事業担当職員及び施設運営担当職員の育成(通年)</p>	<p>今年度は感染症による展示室利用のキャンセルや延期希望が相次ぎ、各団体の事情に可能な限り寄り添ってきめ細かく対応した。各団体の状況をスタッフ間で共有し、対応に漏れ・遅れの出ないように務めた。</p> <p>■広報協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事中止の情報は速やかにHPに表示するなど、最新情報を提供した。 ・情報誌「アートあざみ野」は第4期から版型を変更(横浜市民ギャラリーと同型)し、より手に取っていただきやすいよう工夫するとともに、発行回数を3回とした。 <p>■物品の預かり 計画通り実施</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
--------------------------------------	---	--

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。予防的修繕にも着実に取り組む。

<p>[取組内容]</p> <p>●施設管理・環境維持・警備等ー共有部分について</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□センター横浜北、管理委託会社との「管理合同ミーティング」を月3回以上開催</p> <p>■法令を遵守し、必要な保守点検や測定の実施</p> <p>■全職員による目配りにより、日常的な維持管理に努める。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□計画通りに実施 原則毎週火曜日実施(4-5月臨時休館中は2週間に1回とした)</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
--	--	---

<p>●施設管理－専有施設について</p>	<p>□展示室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面の塗装チェック、必要箇所の塗り直し／年1回 ・可動パネルの保守点検／年1回 ・可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修／随時 ・貸出備品の点検・整備／随時 ・高所作業車保守点検／年1回 <p>□アトリエ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面のリタッチ／年1回 ・貸出附带設備・音響設備の点検、整備／随時 ・陶芸窯保守点検／年1回 ・土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回程度 <p>□その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り ・昇降機設備保守点検／業務の基準の通り 	<p>□展示室：計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面の塗装チェック、必要箇所の塗り直し（1/18） ・可動パネルの保守点検（1/18） ・可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修（展示入替時に随時） ・貸出備品の点検・整備（展示入替時に随時） ・高所作業車保守点検（5/29） <p>□アトリエ：計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁面のリタッチ（1/18） ・貸出附带設備・音響設備の点検、整備（随時） ・陶芸窯保守点検（11/6） ・土練機保守点検（11/6） ・パネルソー保守点検／不具合発生時に修理及び点検を実施（6/5） <p>□その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等）：業務の基準の通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検（9/24, 3/22） ・昇降機設備保守点検（年12回）
<p>●横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（収蔵庫）</p>	<p>□収蔵庫内環境の維持</p> <p>通年で温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%を維持</p> <p>pH 値を定期的に測定し、結果に応じケミカルフィルター一年2回交換</p> <p>文化財喰害虫生息調査／年8回実施</p> <p>担当学芸員ほか職員による定期的な清掃／月1回</p> <p>担当学芸員の立会いのもとに庫内の機器、設備の点検を実施</p>	<p>□収蔵庫内 温湿度管理</p> <p>規定数値以内を維持</p> <p>□収蔵庫内</p> <p>ハジブインジケータ測定・ケミカルフィルター交換（1回目：6/29-7/1、2回目：3/11-13）</p> <p>□文化財喰害虫生息調査（年8回）</p> <p>4/22, 6/49, 7/31, 9/16, 10/27, 12/17, 2/5, 3/10</p> <p>□定期的な清掃、設備点検</p>

<p>●維持保全・修繕について</p> <p>●事故防止・防火防災・保険・感染症対策等</p>	<p>／月 1 回 収蔵庫担当による日々の庫内点検実施(目視もしくは監視カメラ)</p> <p>□収蔵庫設備の保守点検 収蔵庫、展示室空調設備保守点検／年 1 回</p> <p>■コレクション作品管理、貸出、熟覧、画像提供</p> <p>■計画的・予防としての修繕 共有部：センター横浜北および設備管理会社と連携 専有部：今後必要となる修繕項目について検討し、1 件 60 万円を超える事案に関してはモニタリング等を通じて設置者に情報共有・相談</p> <p>■緊急を要する修繕 業務の基準に則り速やかに横浜市、関係各所へ連絡・報告を行う。運営に支障がないことを最優先に応急処置を取りつつ、最適な修繕を実施</p> <p>■怪我や急病：来館者の怪我、急病や多目的トイレの緊急呼出等、異常発生の際を受け次第、センター横浜北・ギャラリーあざみ野の職員 1 名ずつが現場へ急行し対応。救急要請にスムーズに対応できるよう、</p>	<p>毎月 10 日、12 回実施</p> <p>□収蔵庫空調関連機器の保守点検実施 (3/11-13)</p> <p>■コレクション作品管理、貸出、熟覧、画像提供 町田市立国際版画美術館に対し熟覧、画像提供の対応を実施。 ※令和 3 年 4 月 24-6 月 27 日開催の展覧会に作品貸出予定。</p> <p>■計画的・予防としての修繕 共有部：令和元年度の横浜市劣化調査「高圧気中負荷開閉器及び SOG 制御装置」要更新の指摘について、当該装置及び周辺機器の更新及び劣化したケーブルの応急処置を行った (1/25) 専有部：収蔵庫温湿度管理に必須な加湿器について、メーカーでの部品製造終了を受け、加湿器 2 台の更新工事を横浜市により実施 (3/3)。</p> <p>■緊急を要する修繕 エントランスにおいて断続的な雨漏りが発生。利用者に影響のないような応急処置をとり、男女共同参画センター横浜北から所管局へ逐次報告(経過観察中)。</p> <p>■計画通り実施</p>
---	---	--

<p>●災害時対応ー地域に頼られる公共施設として</p> <p>●業務計画・報告および評価</p>	<p>スタッフの研修実施 AED の設置およびスタッフ操作研修／年1回</p> <p>■事故発生時：市を含む関係者に速やかに通報し、必要な対応と原因調査にあたる。</p> <p>■防火防災 センター横浜北、設備管理会社と協働して、アートフォーラム自衛消防隊を組織 センター横浜北との合同防災訓練／年2回</p> <p>■保険：センター横浜北と協議の上、適切な施設賠償保険に加入。作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険等については、個別に適正な保険を契約</p> <p>■感染症対策：感染や拡大を防ぐため、マニュアルに基づきスタッフへの対応講習を実施</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練／年1回</p> <p>■日常的なネットワークを構築し、地区全体での防災力強化に努める</p> <p>■所管の飲料自動販売機に災害用ベンダーを導入し、災害時に活用</p> <p>■事業計画書・事業報告書の作成・提出</p> <p>■日報・月報の作成、月間業務報告</p> <p>■業務評価（自己評価）を実施</p>	<p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施 横浜市による対策ガイドラインに準じ、拡大防止策を徹底した。</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 合同防災訓練内で実施（3/16）</p> <p>■あざみ野駅の帰宅困難者一時滞在施設である山内地区センターへ、次年度以降の訓練の相互見学や合同訓練の実施を提案。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症対策を優先したため、今年度は見送り</p> <p>■計画通りに実施</p>
---	--	--

2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

<p>[目指す成果]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p> <p>●適切かつ効果的な勤務体制を確立</p> <p>●切れ目のない責任体制の維持</p>	<p>[取組内容及び達成指標]</p> <p>■人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="518 291 917 593"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>3～5人</td> <td>短時間勤務</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制について</p> <p>基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは、11：00-19：45）2名 ※全職員によるローテーション制</p> <p>■繁閑に応じて柔軟なシフトを組み、職員のワークライフバランスに合わせた勤務と効率的な運営を両立させ、良質な利用者サービスを提供します。</p> <p>■館長・副館長不在時の代行者を明確にし、責任体制を維持します。</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	1人		職員	8人		臨時職員	3～5人	短時間勤務	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
項目	人数	備考															
館長	1人																
副館長	1人																
職員	8人																
臨時職員	3～5人	短時間勤務															

イ 必要人材の配置及び能力担保

<p>[取組内容]</p> <p>●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■館長・事業責任者： 当団体や民間で文化事業や施設運営について十分な経験を有し、芸術分野全般への理解があり、マネジメント能力の高いベテラン職員を配置</p> <p>■副館長・管理運営責任者： 連絡・調整をはじめとする施設を管理・運営するための基礎的な業務能力を有し、当団体や民間での文化事業や施設運営の経</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
---	---	--

	<p>験を有する職員を配置</p> <p>■事業系及びコレクション担当： 美術に関する専門教育を修め、学芸員の資格を有する職員または鑑賞・造形教育エドゥケーター、もしくは両者を志望する職員を配置。※特にコレクション担当には、写真・映像を専門とする学芸員を配置。</p> <p>■施設運営系担当： 当団体が保有する豊富な専門人材の中から、中堅と若手をバランス良く配置。</p>	<p>■計画通りに実施</p> <p>■計画通りに実施</p>
--	---	------------------------------------

ウ 横浜市の重要施策を踏まえた対応

<p>[取組内容]</p> <p>●適正な個人情報保護・情報公開</p> <p>●人権尊重</p> <p>●環境への配慮</p>	<p>[達成指標]</p> <p>横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力します。</p> <p>また、当財団のコンプライアンス委員会における議論や情報を共有し、職員のコンプライアンス意識を高めます。</p> <p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱います。</p> <p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため、人権尊重の取組みを大切にします。</p> <p>■ゴミを適切に分別し、排出量を抑えます。利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、必要な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>■電気とガスの使用量を前年度並みに抑制します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■光熱水費全体では計画通り実施 電気：対前年度比 78% ガス：対前年度比 109%</p>
--	--	---

<p>●市内中小企業への優先発注</p>	<p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内中小業者に発注します。</p>	<p>臨時休館や稼働率低下の影響があり電気使用量は抑制できたが、感染症対策による換気強化での冷暖房によりガス使用量は前年度を上回った。</p> <p>■計画通り実施</p>
----------------------	---	--

(3) 管理について

ア カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管

<p>[取組内容]</p> <p>●貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>[達成指標] ※「使命5」再掲</p> <p>□収蔵庫内環境は、年間通して温度 20℃±2℃、湿度 50%±2%</p> <p>■pH 値を定期的に測定し、結果に応じたケミカルフィルターを設置</p> <p>□文化財喰害虫生息調査 年 8 回実施</p> <p>□庫内点検、定期的な清掃を実施 月 1 回</p> <p>■専門機関と協力・連携</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>※詳細は使命 6 に記載</p> <p>□計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>□計画通り実施</p> <p>□計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p>
---	--	---

イ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <p>●アートフォーラムでは、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。</p> <p>●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■これまで蓄積してきた各種マニュアルを常に見直し、新たな危機の想定など、必要に応じた更新・改訂をしていきます。</p> <p>■安全管理マニュアルを見直し、必要に応じて更新します。</p> <p>■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的確認行動を図り、</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p> <p>■計画通り実施</p>
---	--	---

<p>● 防災の取組みとして、自館の防災はもちろん近隣の防災拠点としての役割も担います。</p>	<p>危機の際には「アートフォーラムあざみ野」全職員が一致して対応します。</p> <p>□センター横浜北との合同防災訓練 年2回</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回</p>	<p>□計画通り実施 (9/29、3/16)</p> <p>□計画通り実施 (3/16)</p>
--	---	--

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>[取組内容]</p> <p>● 展示室・アトリエともに、現在の利用区分(単位)・料金が定着しているため、従来の設定を踏襲します。</p> <p>● 割引、減免制度については、横浜市民ギャラリー条例・同施行規則に従って運用します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ 従来の料金体系に沿った利用料設定を継続</p> <p>■ 横浜市主催事業：50%減免</p> <p>■ 横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減免</p> <p>■ ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により30～100%減免</p> <p>■ アトリエ利用における、夜間割引や学生割引の導入</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■ 計画通り実施</p> <p>■ 横浜市主催事業 50%減免：実施なし</p> <p>■ 横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業 30%減免：神奈川県高等学校写真連盟主催・横浜市共催「第47回高校生写真展」(12/22～27)</p> <p>■ 計画通り実施</p> <p>■ 計画通り実施</p>
---	--	--

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>● 自主事業の一部については、指定管理料を充当せずに行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 収支ゼロ若しくは黒字で行う自主事業 年間100万円以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□ 収支ゼロ若しくは黒字で行う自主事業 着衣クロッキー 22万円</p>
--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ● 利用料金収入を安定的に確保します。 ● 助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。 	<input type="checkbox"/> 利用料金収入（施設・駐車場） 年間 1,290 万円以上	<input type="checkbox"/> 利用料金収入（施設・駐車場） 施設利用料 4,447,290 円 駐車場利用料 2,171,550 円 計 6,618,840 円（未達）
	<input type="checkbox"/> 助成金を 3 件以上申請。協賛金・広告料とあわせて外部資金を獲得 年間 100 万円以上	<input type="checkbox"/> 助成金（野村財団）500,000 円 「アートあざみ野」広告掲載料 135,000 円 計 635,000 円（未達）

（3）経費削減等効率的運営の努力

<p>[取組内容]</p> <p>○経費削減、効率的運営を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■センター横浜北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画通り実施</p>
--	---	-----------------------------------

6 PDCA サイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PDCA サイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実にを行います。 ● 事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。 ● 業務評価を実施します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 業務日報の作成 毎日 <input type="checkbox"/> 管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングにおいて報告 月 1 回 <input type="checkbox"/> 事業計画書・事業報告書の作成 1 回 事業計画に沿って成果が見える報告書を作成 1 回 <input type="checkbox"/> 自己評価（仮決算含む）年 2 回 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 計画通り実施 <input type="checkbox"/> 計画通り実施 ※臨時休館中の 4 月については書面提出 <input type="checkbox"/> 計画通り実施 <input type="checkbox"/> 計画通り実施
--	--	--

7 その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万に備えます。 	<p>[達成指標] ※「使命 5」再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設賠償保険は館内すべてを対象とするため、アートフォーラムあざみ野としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担します。 ●作品借用や施設外事業、ボラ 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■計画通り実施 ■計画通り実施
--	---	---

<ul style="list-style-type: none"> ● 関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。 ● よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。 	<p>ンティアに係る保険契約については、個別に契約し、賠償請求について対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認を行います。 ■ 事故や不具合時は即日報告とし、随時共有します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画通り実施 ■ 計画通り実施
---	--	--

令和2年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	157,870,000		157,870,000	157,870,000	0	横浜市より
利用料金収入	8,200,000		8,200,000	4,447,290	3,752,710	新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用減のため
自主事業 (指定管理料相当の自主事業) 収入			0	0	0	
自主事業収入	7,472,000		7,472,000	2,874,728	4,597,272	助成申請不採択、センター北との共同事業実施見合わせによる
入場料・講座料・その他事業収入				2,113,728		講座料・入場料+教育プラットフォーム事業負担金収入
助成金・協賛金収入				761,000		野村財団助成金(コフレ'21-展)、アトあざみ野広告料、文化庁コロナ
横浜市による運営支援 (休館期間等)				1,315,000		休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
横浜市による運営支援 (利用再開後の期間等)				0		利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	5,000,000	0	5,000,000	2,985,257	2,014,743	
物販等手数料	50,000		50,000	0	50,000	
自動販売機手数料	920,000		920,000	447,462	472,538	臨時休館・感染症対策による来館者減のため
駐車場利用料収入	3,900,000		3,900,000	2,171,550	1,728,450	同上
その他 (センター北負担金等)	130,000		130,000	366,245	△ 236,245	センター北と共用事務機器の折半負担分 ハマふれんど給付金、派遣休業業務料返還等
収入合計	178,542,000	0	178,542,000	169,492,275	10,364,725	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	76,062,000	0	76,062,000	70,245,763	5,816,237	
給与・賞金	64,040,000		64,040,000	58,138,706	5,901,294	職員7名、派遣職員3名、育休2名、事務室7名(1名)、アト事業7名(1名)、企画展短期7名(1名)。(予算計上時からの変更：正職員1名育休取得のため派遣へ切替)
社会保険料	7,797,000		7,797,000	7,398,464	398,536	
通勤手当	1,931,000		1,931,000	1,348,303	582,697	
健康診断費	104,000		104,000	113,508	△ 9,508	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	2,190,000		2,190,000	3,246,782	△ 1,056,782	実配置との差
事務費	3,458,000	0	3,458,000	4,561,120	△ 1,103,120	
旅費	100,000		100,000	23,365	76,635	
消耗品費	400,000		400,000	902,615	△ 502,615	新型コロナウイルス感染症対策による消毒液等の購入増ほか
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	180,000		180,000	104,720	75,280	封筒、名刺等印刷費
広報宣伝費	122,000		122,000	222,741	△ 100,741	年報作成 (デザイン委託含む)
通信費	545,000		545,000	623,722	△ 78,722	
使用料及び賃借料	1,401,000	0	1,401,000	1,226,174	174,826	
横浜市への支払分	125,000		125,000	126,706	△ 1,706	行政目的外使用料 (飲料自販機、お弁当やさん事業)
その他	1,276,000		1,276,000	1,099,468	176,532	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、足ふきワザワザ、トリビリティ・ド・メイ等使用料 (提案書時から料金改定あり)
備品購入費	200,000		200,000	969,390	△ 769,390	文化庁補助金対象で購入した感染症対策備品及び、予算策定後に必要となった高所作業用設備の購入、Windows10PC新規購入による
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	81,000		81,000	80,665	335	
職員等研修費	0		0	2,500	△ 2,500	
振込手数料	230,000		230,000	181,390	48,610	
リース料	0		0	0	0	300万以上のリース物件に使用
手数料	192,000		192,000	223,838	△ 31,838	産業廃棄物処理、インターネットバンク、アト備品のクリーニング等
地域協力費	0		0	0	0	
その他 (雑支出等)	7,000		7,000	0	7,000	
事業費	27,920,000	0	27,920,000	21,268,276	6,651,724	
自主事業費	27,920,000		27,920,000	21,268,276	6,651,724	展覧会事業等の実施内容を大幅に見直し ※「こどもぎやらりい2020」中止、ワークショップ事業に切替え、「コフレ'21-展」会場規模縮小・「アト・アト展」会期短縮、「アト・アト展」等中止
管理費	57,698,000	0	57,698,000	55,300,887	2,397,113	
光熱水費	14,000,000	0	14,000,000	11,233,571	2,766,429	
電気料金	9,300,000		9,300,000	7,173,834	2,126,166	4-5月臨時閉館及び貸出施設稼働率低下による
ガス料金	3,400,000		3,400,000	2,777,137	622,863	
水道料金	1,300,000		1,300,000	1,282,600	17,400	
清掃費	0		0	0	0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
修繕費	1,700,000		1,700,000	2,037,368	△ 337,368	開館15年の経年劣化による修繕箇所発生
機械警備費	174,900		174,900	174,900	0	
設備保全費	41,823,100	0	41,823,100	41,855,048	△ 31,948	
空調衛生設備保守	2,333,650		2,333,650	2,360,050	△ 26,400	
消防設備保守	544,500		544,500	544,500	0	
電気設備保守	958,100		958,100	958,100	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	建物総合管理契約に含むため「その他保全費」に計上
駐車場設備保全費	547,800		547,800	547,800	0	
その他保全費	37,439,050		37,439,050	37,444,598	△ 5,548	
共益費				0	0	
公租公課	6,524,000	0	6,524,000	6,679,222	△ 155,222	
事業所税				0	0	
消費税	6,407,000		6,407,000	6,593,500	△ 186,500	
印紙税	60,000		60,000	29,000	31,000	
その他 (法人住民税)	57,000		57,000	56,722	278	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	6,880,000	0	6,880,000	6,880,000	0	
本部分	6,880,000		6,880,000	6,880,000	0	
当該施設分				0	0	
支出合計	178,542,000	0	178,542,000	164,935,268	13,606,732	
差引	0	0	0	4,557,007	△ 3,242,007	